
第1号議案

平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業報告

平成28年度の事業計画に対する実践報告

（1）国際理解教育および国際交流事業に対する経済的支援を行なった。

母校の国際交流事業において、米国テキサス州から来日したウッドランズ高校生に対し、日本文化を理解する一助となる次のような支援をした。

- ・フジテレビ本社内の見学。スタジオ見学や人気アニメ『ワンピース』の制作スタッフとの交流の場を設けた。
- ・羽田空港にて、東京エアポートレストラン株式会社総料理長で、内閣府よりクールジャパンアンバサダーを任命された長島博氏による「むきもの飾り切り」の実演を見学。また「野菜だけの握り寿司」や和風ポタージュスープとも呼べる「すりながし」を試食する機会を設けた。

ウッドランズ高校生たちのリクエストで『ワンピース』の制作現場を訪ねることをアレンジしたが、本拠地を訪ねた彼らは終始興奮しっぱなしであった。また「むきもの飾り切り」の実演は、その道の第一人者である長島博氏のワザの凄さゆえ参加者は夢中になった。中には弟子入りしたいと言い出す生徒が複数現れた。

参加者の中にビーガン（絶対菜食主義者・純粋菜食主義者）がいたこともあり、長島氏が2015年に首相随行料理人として訪米した際にニューヨークの日本国総領事館での晩餐会で出された「野菜だけの握りずし」と同じものをこしらえてもらった。色合い、照りなど、日本人が見ても、一見、普通の握りずしのように見えるくらいに工夫が凝らされており、味も分量も大変好評だった。

この国際交流支援をしたことで次のような感想をもった。

- ・第一人者や一流の人による「本物」を見せることの大切さを再認識した。
- ・ウッドランズ高校に限らず、その他の姉妹校交流の際にも、母校からの要請があれば、同様の支援をしたい。
- ・母校の後輩諸君にも同様な日本文化を知る機会を設けることができたらと感じた。

(2) 異学年交流会を開催し、創立 40 周年に向けて情報交換を行なった。

昨年、同窓会は、過去最大規模の役員組織となったが（執行役員 20 名、評議員 35 名、顧問弁護士 1 名、合計 56 名）、役員のほとんどが社会的に要職にあり多忙を理由に一堂に会して活動を行うことが難しかった。

そのような状況下で、第 10 期生の藤井正丞副会長が音頭を取り、卒業期の違う異学年交流会を 3 度開催した。情報交換はもとより同窓生としての親睦を深める貴重な会合となっており、毎回少しずつ参加者が増えている。

(3) その他、これまで同様に同窓会活動を実行できたことは以下の通り。

- ①同窓会入会式の開催、ならびに新規入会員への卒業記念品の贈呈
- ②第 36 回卒業証書授与式への臨席（母校からの申請に基づく）
- ③第 39 回入学式への臨席（母校からの申請に基づく）
- ④母校への寄付贈呈（母校からの申請に基づく）
- ⑤同窓会名簿の更新と整備
- ⑥先生を囲む会・部活動 OB 会・同期会・クラス会の開催および開催支援
- ⑦広報活動（HP、Blog、Facebook 等メディアでの情報発信）